

## 「足尾・中倉山のブナを元気にする恩送り」を実施します！

一世紀以上も中倉山の稜線に生き続ける「孤高のブナ」の根を保護する活動を行います。



西から東方面から見たブナ（写真左側の北斜面の土壌が流されている 10月11日）

栃木県日光市足尾町・中倉山の無言の語り木（孤高のブナ）に会いたいと、中倉山を訪れる人々が増えています。稜線に凜と立ち続ける「孤高のブナ」の魅力がそうさせているのかもしれませんが。

岩だらけの稜線で、冬の風雪と厳しい寒さにさらされ、夏は乾燥して暖められた岩の上で生き抜き、その上、亜硫酸ガス等にも歯を食いしばって耐え抜き、樹高約12m、幹の直径約45cm、樹齢は100年以上も生き抜いてきた「孤高のブナ」は、訪れる人々に生きる力を伝えています。この幹には、煙害で枯れ、土砂と一緒に松木川に流された草木、生きる糧を奪われた村人の怒りや悲しみが宿っていると思います。また、ブナの葉や実は生きものたちの命の営みを支えています。

私たちは、“煙害の生き証人”と言えるこのブナが、これからも語り部（木）として多くの登山者に発信しつづけてほしいと願い、ブナの根を保護する活動を2017年から行っています。今年も、新型コロナウイルス感染予防に努め、「足尾・中倉山のブナを元気にする恩送り」を下記の通り実施します。

ご支援、ご協力をお待ちしています。

### 「記」

#### 【足尾・中倉山のブナを元気にする恩送り活動】

日時：2021年11月3日（水）

受付：足尾ダムゲート 7時～7時30分

※検温、消毒の実施。

集合：登山口 8時30分

内容：腐葉土・植生袋の荷揚げと貼り付け

日程：9時登山開始→12時～13時山頂で作業→13時下山開始→14時30分頃登山口着  
→15時頃解散



写真：植生袋から草が成長し土壌流失を止める：2021年10

当日は、参加者に土と植生袋を山頂（1539mのブナ）まで運び上げて頂き、その土を植生袋に入れてブナの根の周りに貼り付けます。これまで土壌流出地に張り付けた植生袋からは草が芽を出し、土壌流出を抑え、ブナの根を保護している様子を確認していただけます。

主催：森びとプロジェクト

<問い合わせ先>

住所：〒141-0031 東京都品川区五反田3-2-13 目黒さつきビル3F

TEL/FAX：03-6417-3750

E-mail：[info@moribito.info](mailto:info@moribito.info)

WEB：<http://www.moribito.info/>